

## 久留米大学を受診した患者さんへ

「ITI 実施例の実態調査」の研究に使用する資料について

この研究では、久留米大学を受診し、診察・手術・検査の際に保存されている以下の資料を使用します。

- 1) 期間：2000年以降
- 2) 受診科：小児科
- 3) 対象疾患名：インヒビター発生血友病 A・血友病 B 患者
- 4) 使用する資料：診療録・検査データ

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

**研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。**

**ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。**

- 1) 研究組織：所属：小児科  
研究代表者：職名助教 氏名 松尾陽子  
研究分担者：職名講師 氏名 上田耕一郎  
職名助教 氏名 大園秀一

### 2) 研究の意義と目的：

免疫寛容療法（以下、ITI）は凝固因子製剤を反復投与することによりインヒビターを消失させる治療で、国際的にもインヒビター陽性血友病患者の必須の治療となりつつある。一般に、高用量法（HD）と低用量法（LD）があるが、統一された指針はない。我が国でも ITI は LD を中心に普及しつつあるが、より至適かつ有効な治療指針の確立が急務である。

本研究により、日本における ITI の治療詳細を把握し、TI 成功要因を模索する。

### 3) 研究の方法：診療録より過去の ITI の治療状況を詳細に調査する。

### 4) 研究期間：倫理委員会承認後～平成 27 年 3 月 31 日

### 5) 上記の資料の使用を選定した理由：研究対象に該当しているため

### 6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：

この研究に関して新たに患者様に行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。患者様個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。

7) 研究成果の発表の方法：学会や公益財団法人血液製剤調査機構の報告書、学術雑誌等で公表致します。

8) その他：特になし

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

(代表者氏名) (所属、職名) 松尾陽子 小児科 助教

(住所) 福岡県久留米市旭町 67

(TEL) 0942-35-3311

研究番号 14188